

スマート・プロテクター90オープン

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2017年5月9日～2022年9月13日

第 6 期 信託終了日：2022年9月13日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、短期金融資産（預金含む）および日本を含む世界各国の株式・債券等に実質的な投資を行いました。また、スワップ取引を通じて株式・債券等への実質的な資産配分比率および投資比率を調整し、基準価額の下落を設定来の基準価額の最高値から90%の水準（フロア水準）までに抑えることをめざす運用を行いました。ここに運用経過をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

第 6 期末 (2022年9月13日)	
償 還 価 額	9,175.01 円
純資産総額	1,739 百万円
第 1 期～第 6 期	
騰 落 率	-8.2 %
分配金合計 ^(*)	0 円

(*) 当期間の合計分配金額です。

閲覧・
ダウンロード方法



<https://www.am.mufug.jp/>

【ファンド関連情報】
を選択

【償還ファンド一覧】
を選択

当ファンドのファンド名称の
右欄の運用報告書（全体版）
を選択

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufug.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

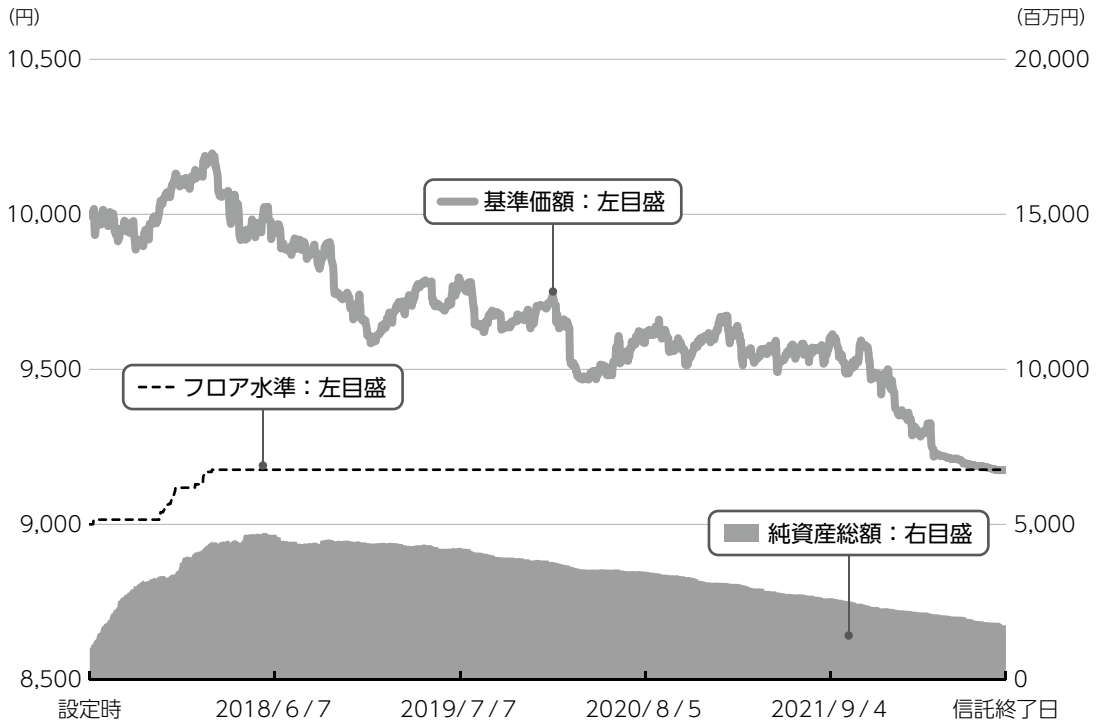
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第1期～第6期：2017年5月9日～2022年9月13日

▶ 設定来の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第6期末	9,175.01円
既払分配金	0円
騰落率	-8.2%

※フロア水準とは基準価額がこれを下回らないよう目標とする水準ですが、フロア水準の確保を保証するものではありません。

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ8.2%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

先進国の株式市況が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

債券利回りが上昇したことや、信託報酬等の運用管理費用などが、基準価額の下落要因となりました。

2022年4月29日～2022年9月13日

▶ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	31	0.335	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
（投信会社）	(10)	(0.108)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(20)	(0.216)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.011)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.001	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	31	0.336	

期中の平均基準価額は、9,192円です。

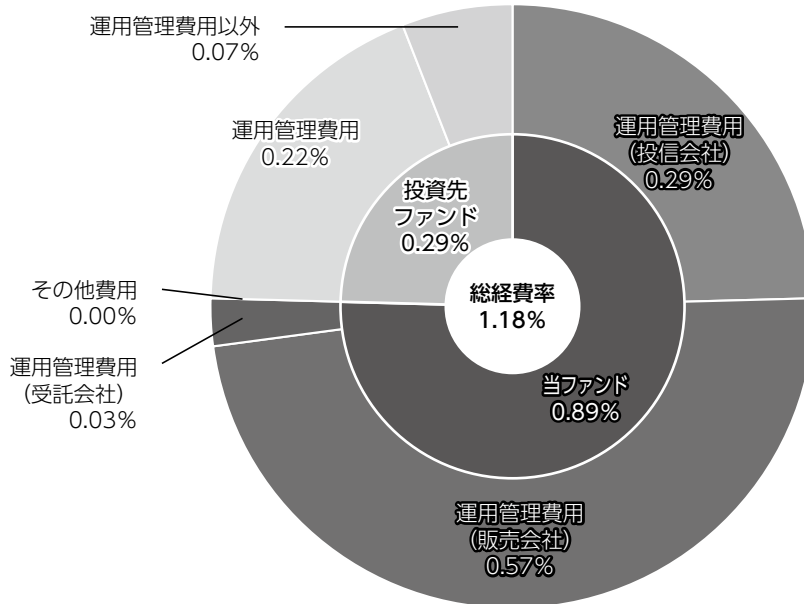
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.18%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.18
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.89
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.22
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.07

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

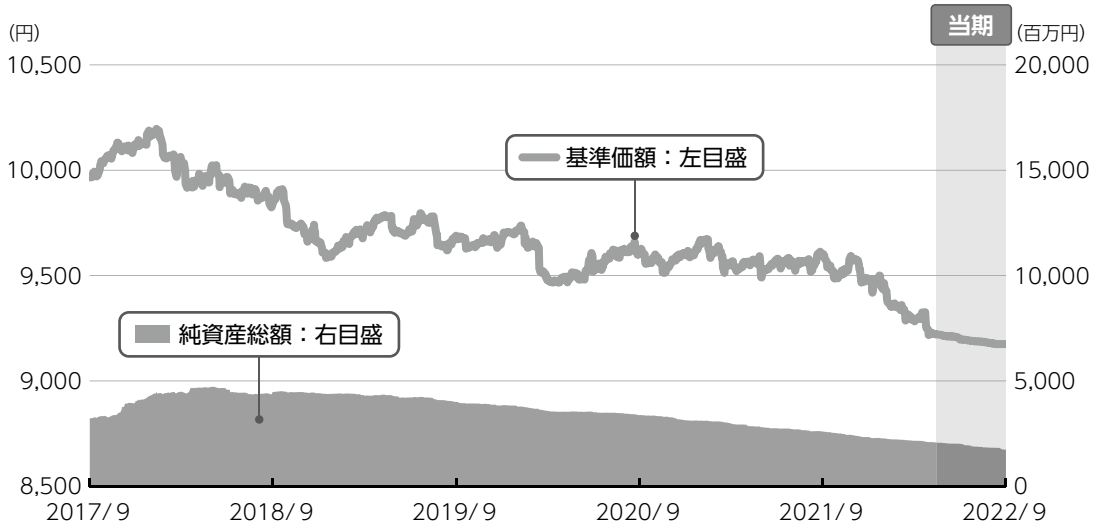
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年9月13日～2022年9月13日

最近5年間の基準価額等の推移について



最近5年間の年間騰落率

		—	2018/5/1 期初	2019/5/7 決算日	2020/4/28 決算日	2021/4/28 決算日	2022/4/28 決算日	2022/9/13 信託終了日
基準価額	(円)	—	9,972	9,783	9,499	9,565	9,221	9,175.01
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	—	0	0	0	0	—
基準価額騰落率	(%)	—	—	-1.9	-2.9	0.7	-3.6	-0.5
純資産総額	(百万円)	—	4,698	4,327	3,544	2,846	2,073	1,739

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第1期～第6期：2017年5月9日～2022年9月13日

投資環境について

▶ 株式市況

日本を含む先進国の株式市況は、信託期間を通してみると上昇しました。

2020年2月から3月にかけて、新型コロナウイルスに対する懸念から一時的に株式市況が下落する局面もありましたが、米連邦準備制度理事会（F R B）や欧州中央銀行（E C B）による金融緩和姿勢、新型コロナウイルスワクチンの普及を背景とした経済正常化への期待などから、信託期間を通してみると上昇しました。

▶ 債券市況

先進国や新興国の債券利回りは、信託期間を通してみると上昇しました。

新型コロナウイルスに対する懸念から、債券利回りが低下する局面もありましたが、F R Bによる金融政策正常化の進展が示唆されたことや、物価上昇に対する懸念などから、信託期間を通してみると債券利回りは上昇しました。

▶ 為替市況

信託期間を通してみると、金利差の拡大などを受けて、円は米ドルやユーロに対して下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.033%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

- ▶ **スマート・プロテクター90オープン**
当ファンドは、円建ての外国投資信託であるソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90の投資信託証券への投資を通じて、短期金融資産（預金含む）および日本を含む世界各国の株式・債券等に実質的な投資を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行いました。
- 第6期（2022年4月29日～信託終了日）は、前記の運用を維持し、償還に向け2022年8月に円建ての外国投資信託およびマネー・マーケット・マザーファンドの売却を実施しました。

- ▶ **ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90**
ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90において、短期金融資産（預金含む）および基準価額とフロア水準の差に相当する部分（以下、「スワップ取引部分」ということがあります。）を、日本を含む世界の株式・債券等へ実質的に投資しました。
- 通常時においては、基準価額の変動幅の目処が年率上限4%となるように、スワップ取引部分の実質的な投資比率が純資産総額の最大60%となるように投資比

率の調整を行いました。一方、各市場の下落予想が示唆された局面においては基準価額の変動幅の目処が年率上限1%となるようにスワップ取引部分の実質的な投資比率を引き下げ、株式・債券等への実質的な投資比率を調整することで基準価額の下落をフロア水準までに抑えることをめざす運用を行いました。

第6期（2022年4月29日～信託終了日）は、前記の運用を維持し、償還に向け2022年8月23日に組入れ資産の資金化を行いました。

- ▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

信託期間中の収益の分配はありません。

▶ 償還価額

▶ スマート・プロテクター90オープン

償還価額は、9,175円01銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

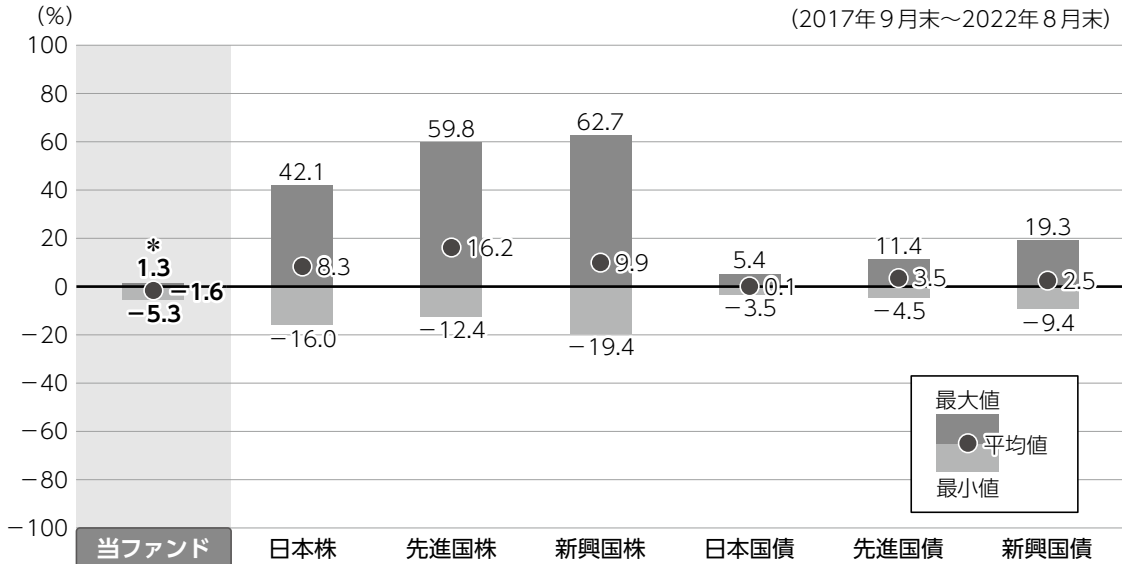
- ・基準価額が約款の定める解約の条件を満たしたため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。(2022年9月13日)

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2022年9月13日〔当初、2027年4月28日〕まで（2017年5月9日設定）
運用方針	<p>円建ての外国投資信託であるソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90の投資信託証券への投資を通じて、円建ての短期金融資産（預金含む）へ90％程度の投資を行うほか、スワップ取引により、株式・債券等に実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。</p> <p>各資産への実質的な投資割合は、1万口あたりの基準価額（支払済みの分配金累計額は加算しません。以下同じ。）の下落を一定水準（以下「フロア水準」といいます。）までに抑えることをめざしながら、経済環境や市況動向等を勘案して、決定されます。フロア水準は当初9,000円とし、その後は設定来の基準価額の最高値から90％の水準とします。</p> <p>基準価額がフロア水準以下となった場合には、短期金融資産による安定運用に切り替えた後、速やかに信託を終了させます。</p> <p>円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90</p> <p>スワップ取引を通じて、日本を含む世界各国の株式・債券等に実質的な投資を行います。また、円建ての短期金融資産（預金含む）にも投資を行います。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド</p> <p>わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	短期金融資産（預金含む）および日本を含む世界各国の株式・債券等を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得および利子収益の確保をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2017年9月末～2022年8月末)



●上記は、2017年9月から2022年8月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2018年5月～2022年8月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年9月13日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

・信託終了日現在、有価証券の組み入れはありません。

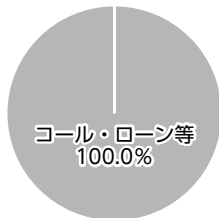
純資産等

項目	信託終了日 2022年9月13日
純資産総額 (円)	1,739,496,901
受益権口数 (口)	1,895,907,053
1万口当たり償還価額 (円)	9,175.01

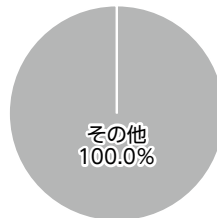
※当期中において追加設定元本は4,386,964円
同解約元本は356,927,897円です。

種別構成等

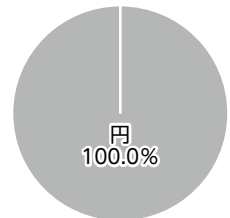
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先として他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信